



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2021年 10月号

キム国際会長のメッセージ

挨拶、100日間会員増強キャンペーン、新インド地域会長の報告



2 ページ



IHQ ニュース 10月

100日間会員増強キャンペーン
iGo プログラムへの支援の
お願い
ポール・ウイリアム・アレキサン
ダー遺産基金ニュース

3 ページ



10月の強調月間テーマ:「2022年に向けて」

4 ページ

「2022年とその先に向けて」タスクフォースの働き
の概要



元アメリカ地域会長 チャー
リー・レッドモンド

10月の強調月間テーマ:YIA (若者の参画・活動)

5 ページ

IYA 国際事業主任のサンドラ・ハミ
ルトンからの励ましの言葉と重要な
質問



ヨーロッパ地域

ビョルン・アーヴェ・ベンツェン
ヨーロッパ地域会長による
活動報告

6 ページ



カメルーンの学校プロジェクト

7 ページ

ニュービジョンバメンダクラブによる脆弱な子どもたち
支援の働きの話



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

ワイズの皆さま。韓国からご挨拶申し上げます。

季節の変わり目の健康管理はしっかりされていますか？

韓国の大部分は、温暖な気候であるため、季節の変化がとても感じられます。韓国には、あまり地域毎の差がなく、1年は、明確に4つの季節に分けられます。喜びに満ちた春(4月～6月)、蒸し暑く雨の多い夏(7月～8月)、爽やかな秋(9月～11月)、凍えるような寒さと雪が降るが、乾燥した冬(12月～3月)です。

夏の蒸し暑さと雨が過ぎれば、韓国は、色鮮やかになり、お祭りも盛んになります。年末には新型コロナウイルスが沈静化すると予想されていましたが、予想どおりになるには、まだまだ時間がかかりそうで、以前のようなお祭りを期待するのは難しそうです。

9月1日には、「100日間会員増強キャンペーン」を、世界中の100人のリーダーの参加のもと、Zoomを通じて開始しました。EMC国際事業主任のチ・ソンウンを中心に、リーダーたちは、9月1日から12月9日までのキャンペーン期間中、新クラブの設立と新会員の募集を加速させることを誓いました。

IHQは、8月の会員半年報と支払いの時期で、多忙を極めています。一方、エリアキャンペーン、チャーター補助金、グローバルクラブの拡大、スポンサーシップなどの取り組みが実を結んでいます。皆さんの功績を鼓舞するために、国際協会では、表彰基準を拡大し、質の高い賞を準備しています。国際協会の知名度や会員数の増加に大きく貢献された方には、大きな評価と感謝をお贈りします。

8月18日に急逝した故アウレリアン・フィギュアードの後任として、9月18日にアナンド・ジェイコブ・ベルギース博士がインド地域の会長に就任したことをお知らせいたします。49年間、献身的にワイズメンに尽くした故アウレリアンの遺志を継いでインド地域を率いるアナンド会長に幸多きことを祈ります。また、突然の空席を早急に埋めるために地域のリーダーシップを集結し、前に進むための活動を始めてくれたインドのリーダーたちに感謝します。

ワイズメンズクラブに連なる皆さん、私たちが再び一緒に幸せに会える日まで、新型コロナウイルスを賢く乗り越えていきましょう。

私も精一杯頑張ります。

2021-2022 国際会長

キム・サンチェ

IHQ からのニュース - 2021 年 10 月

夏の終わりを告げる寒さがジュネーブにやってくると、IHQ では、12 月中旬に開始される国際選挙の準備、前期国際会費の請求と最終受領、2020/21 年度年次報告書の最終作成、昨年度の国際表彰の決定などの作業が活発化します。9 月末には投票資格を持つクラブが確定しましたので、様々な資質を持った候補者の中から、スムーズにオンラインで選出が行われることを期待しています。すべてのクラブの皆さまに対して、効果的かつ効率的な組織運営のためには、タイムリーな国際会費の支払いが不可欠であることを改めてお知らせいたします。まだ国際会費をお支払いになっていないクラブは、できるだけ早くお願いいたします。



活発で献身的な「2022 年とその先に向けて」チームは、引き続き定期的に会合を開き、調査結果を活用して、次世代の会員にとってワイズメンズクラブ国際協会を魅力的なものにするための戦略を構築しています。先月、国際議員は、3 つのワーキンググループに分けられ、それぞれが特別な任務を担いました。これらのグループの一つは、将来の計画に焦点を当てていて、年次会議 2022 で報告される予定の予備的な結論と提言を聞くことを待ち望んでいます。各区には、このグループの作業内容が伝えられ、クラブレベルでの意見が求められます。クラブは、私たちの基盤です。次の 100 年に向けて、統一性があり、インパクトがあり、適切なワイズメンズクラブ国際協会に発展するために、皆さまの声を聞く必要があります。

もちろん、若い人たちは、私たちの未来の鍵を握っています。ですから、今月は YIA (若者の参画・活動) にも焦点を当てるのがふさわしいと思います。2022 年、ワイズメンズクラブ協会と YMCA は、パートナーシップを結んで 100 年を迎えます。YMCA にサービスを提供することは、創立時の目的であり、現在も私たちの組織の原動力となっています。そのため、私たちは、新しいインターンシッププログラム「iGo (Internships 4 Global Outreach)」の公式スタートを特に楽しみにしています。

iGo モデルは、18 歳から 30 歳までの若者に、自身の興味やモチベーションに基づいて、さまざまな分野や文化を探求する機会を提供することを目的としています。求められれば、あなたは若者を支援しますか？ 3 ヶ月間の職場体験の機会を提供したり、ボランティアでインターンを受け入れたり、参加費用のための資金を調達したりと、さまざまな方法で支援を行うことができます。iGo についてもっと知りたい方は、右の画像をクリックしてください。



最後に、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金と、100 周年までに 100 万ドルを集めるというその目標を忘れないでください。募金活動は、3 年目に入りましたが、まだ、目標額の 50% に達していません。目標達成を確実にするための最良の方法は、各クラブ会員が次回の国際会費支払い時に 30 スイスフランを別途寄付していただくことです。ご希望の方は、PayPal を使って直接お支払いいただくことも可能です。ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金と現在の寄付者の一覧については、[こちら](#)をご覧ください。多額の寄付は、高く評価され、寄付を奨励するためのさまざまなインセンティブや表彰制度が用意されています。ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金の[チラシ](#)にアクセスして、プロジェクトや寄付のカテゴリーの詳細を確認し、今すぐ献金のお約束をお願いいたします。

国際書記長

ジョース・ヴァルギー

10月の強調月間 - Towards 2022 (2022年に向けて)

Towards 2022 and Beyond (2022年とその先に向けて)タスクフォースは、ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の未来について考えてきました。生き残り、成長していくためには、2035年のワイズメンは、現在の私たちとは違っていなければなりません。タスクフォースは、そのような YMI になるために若いメンバーを募り、維持するために何が必要かを模索してきました。

最近の成長のための努力は、現在の私たちに焦点を当てていました。焦点は、若年層を YMI に引き入れるために必要なものに変更しなければなりません。私たちは、若者が社会奉仕団体の組織に何を求めているのかを問うことも、対策を講じることもしてきませんでした。タスクフォースは、若年層にとって適切で魅力的な組織となるためには、どのような変化が必要なのか、その答えを探しています。どのようなリソースが必要なのか。どこで情報が得られるのか。私たちは、これらの質問に答えるための助けを求めました。

タスクフォースは、私たちが何者なのか、何をしているのか、そして、私たちがもっと注目され、若い会員を増やすためには何をすべきなのかについて、偏見のない意見を得るために、ワイズ運動の外部で活動しました。180 Degrees Consulting (180DC) が、北米の各区の見直しをするために選ばれました。180DC は、広報担当のプロとプロボノ活動を行う大学生からなるグローバルな非営利団体です。彼らのチームは、先入観を持たずに YMI を見ることができ、彼らの態度や年齢は、私たちのターゲットであるヤングアダルトの年齢層に合致しています。



テキサス州ダラスの 180DC チームは、今年の夏に最初のプロジェクトを終えました。最終プレゼンテーションと報告書では、クラブメンバーの年齢、一貫性のないリクルートプロセス、プロジェクトの成功を評価する手順の欠如、企業寄附者をリクルートして利用しているクラブの少なさなどの懸念が指摘されました。報告書には、私たちの調査が見落としていた点として、ウェブ上での存在感の有効性が、どのレベルでも評価されていないようだということが付け加えられました。

ウェブ上での存在感の整理と最適化、ソーシャルメディア戦略の開発、若年層にとって魅力的で関連性のある存在になるために必要なブランディングと PR のアイデアの開発など、YMI のマーケティング方法を概説する提案が最終報告書に記載されています。これらの提案の中には既知のものもありますが、多くは新しいもので、私たちが内部調査で見つけたものを超えるものです。180DC が指摘した主要な点は、YMI が成長を持続するためには進化しなければならないということです。私たちには、採用できる新しいアイデアや新しい方向性があります。重要なのは、若い人たちを会話に参加させ、リソースを構築し、成長のために必要なステップを踏むことです。

180DC が、北米で行ったようなプロジェクトを他の地域が行うことで得られるものはありますか。各地域は、自分たちのことをどれだけ知っているのでしょうか。経験豊富な若者たちの意見は、北米が自分たちを評価する際に見落としていたものを示しています。あなたの地域は、同じような活動から何を学ぶことができますか。



元米国地域会長、チャーリー・レッドモンド

10月の強調月間 - 若者の参画・活動(YIA)

若者は無駄になるのか



若者の若さは無駄になると何度も耳にしました。そして昔から、あるいは少なくとも 1931 年のジョージ・バーナード・ショーに遡れば、多くの人が、知恵は、50 代で得られると感じていたようです。

多くのワイズメンズクラブは、知らず知らずのうちに、この、若さは無駄になるというイメージを受け入れているようです。なぜそのようなことを言うのでしょうか。あなたの YMI クラブの平均年齢を見てみると、どうでしょう。

私たちワイズメン・ワイズウイメンは、年を重ねて知恵をつけた上で、若者たちと自分たちの欠点について正直に話し合うことができますか。私たちは、彼らが私たちと同じような失敗をする手間を省き、この YMI の世界で彼らの地位を向上させることができるでしょうか。

というのも、現代は、バーチャルな世界であり、ソーシャルメディアやミームの世界であり、キーを間違えてクリックしたり、タッチしたりすることで、世界中とまではいかななくても、会社全体に恥をかく可能性があるからです。多くの意味で、若者は、その英知を私たちと共有する必要があるのは事実です。

ワイズメンズクラブ国際協会を通して若者たちと話していると、彼らは、私たちに敬意を持って接してほしい、彼らの意見に耳を傾けてほしい、ネットワークの作り方を教えてほしい、そして実際に彼らとネットワークを作してほしいと言っているのが聞こえてきます。

ワイズダムの若者の多くは、価値ある者と思われていないと感じています。このままでは、私たちは、若者を失うことになるでしょう。そこで、肩書きや決まり文句だけでなく、若い人たちに力を与える意識的な取り組みを始めていただきたいと思います。

多くの人は、肩書きがあっても、その考えを完全に表現する前に声が切り捨てられてしまうと感じています。しかし、私たちは、立ち止まり、耳を傾け、目を閉じて、知恵の芽を聞き、それをすべての世代に恩恵をもたらす美しい成熟した果実にする手助けができるでしょうか。若者の声に耳を傾け、騒々しい声を聞く代わりに、反対意見を考える代わりに、年長の賢者として、私たちが、切実に求めている平和をこれらの声に吹き込むことができるでしょうか。不協和音の声を私たちの声と一緒にして、変化の風とともに美しい音楽を奏でることができるでしょうか。

彼らが何をしようとしているのか、ユースグループの Facebook ページをチェックしてみてください。[ここをクリックしてください。](#)



サンドラ・ハミルトン
国際 YIA 事業主任

ヨーロッパ地域



私は、ビョルン、フルネームはビョルン・アーヴェ・ベンツェンで、ノルウェーの最南端にある小さな町、マンダルに住んでいます。私はマンダルワイズメンズクラブのメンバーで、2014年3月25日にチャーターされたときには会長を務めていました。マンダルワイズメンズクラブは、130人のメンバーを擁するかなり大きなクラブです。メンバーのほとんどがYWCAやYMCA出身の経歴を持っています。

私は、30年間ワイズマンとして活動してきましたが、2018-19年は、ノルウェーの区理事を務め、現在は、ヨーロッパ地域会長で、2020-22年度の国際議会議員という役職に就いています。

特に新型コロナウイルスのパンデミックにより物理的なミーティングが禁止され、私たちメンバーが一緒にいる可能性が制限された年に、国際議会の議員となったことは、急な学びの連続でした。私は、2年目に入りましたが、2022年には、物理的に会う機会があることを願っています。

ヨーロッパは、YMIクラブがあちこちに散らばっている地域です。最大の区は、デンマークとノルウェーで、フィンランド/バルト海、ロシア、中央南ヨーロッパはそれよりも小さいです。私たちの共通の課題は、クラブメンバーの高齢化と、特に若い人たちの会員増加が限られていることです。

現在の主な目的は、100日間の会員増強プログラムをフォローすることです。すべての区は、今後数ヶ月の間にこの重要な活動を強調するようにクラブに働きかけることになっています。この点において、デンマークは南東ヨーロッパのクラブの成長をサポートするために非常に良い仕事をしています。ヨーロッパ地域のこの部分がとても強くなり、独立した区にするための取り組みが行われることを期待しています。

私の地域会長として目標の一つに、組織的な研修の強化があります。最近、新型コロナウイルスの制限がある程度解除されたことを受けて、10月にデンマークで開催されるR2R(区から区へ)研修セミナーにクラブメンバーを招待しています。現在のところ25名の参加者が登録しており、費用は、地域と各区が負担します。

私の印象では、地域会長と国際執行役員間のコンタクトは非常に良好です。YMIは、今日の課題に対処するために、組織や統治機構を継続的に調整しなければならないという共通の理解があります。現在の状況を評価し、調整すべき点をワーキンググループに提案させるという強力な取り組みが行われていることを、私は、とても嬉しく思っています。私は、「国際憲法と組織の近代化」というグループの委員長を務められることを嬉しく思っています。

私は、ワイズメンズクラブ国際協会の将来をとても楽しみにしています。

ビョルン・アーヴェ・ベンツェン ヨーロッパ地域会長

カメルーンの学校プロジェクト

ニュービジョンバメンダワイズメンズクラブは、パートナーであるムビアメ・ニュービジョン多目的農業開発センターと協力して、カメルーンの英語圏に住む弱い立場の子どもたちに奉仕しています。彼らは、北西部と南西部での敵対行為や新型コロナウイルスの影響によって引き起こされた多くの人道的ニーズを認識しています。多くの子どもたちが、通常の学校教育を受けていません。2月に行われた調査では、避難民となった子どもたちが、学校に行かない理由として、「学校が破壊されているから」(61%)、「治安が悪いから」(53%)が挙げられています。学童、教育施設、教師は、引き続き標的となっています。報告期間中、両地域で学校関係者や施設への攻撃が数件報告されています。

私たちは、恵まれない家庭の子どもたち 25 人に学用品を配布し、6,000 米ドルの授業料を手配しました。直接影響を及ぼすプロジェクトの、この段階での目標は、少なくとも 50 人の就学年齢の子どもたちを支援することです。このプロジェクトの先には、学校施設の増設とボランティア教師の採用が必要なことを、パートナー団体は認識しています。これをどうやって実現するかが、私たちの将来計画の中心となっています。

タタ・ウィルバ・ウスマイラ ニュービジョンバメンダワイズメンズクラブ会長

